

子どもの人権講演会 ～事例から学ぶ～ 子どもの個性を 活かすには

子どもが健やかに
育つ環境とは？

大人にできること！

ジャーナリストの草薙厚子氏は、少年鑑別所・児童相談所での勤務や子どもを巻き込む重大事件の取材のなかで、人権を侵害され不適切な環境で生きる子どもをたくさん見てこられました。その経験・分析をお聞きして、よりよい子育て・養育環境を一緒に考えてみませんか。

日時： 2024年10月14日(月・祝) 13:30～15:30

場所： 鶴ヶ島市富士見市民センター集会室

講師： 草薙厚子氏（ジャーナリスト）

主催： 特定非営利活動法人 こっこの会

協力： 公益財団法人 上廣倫理財団

後援： 医療法人社団 満寿会 社会福祉法人 忠黎会

鶴ヶ島市商工会 坂戸保健所

※参加無料。要事前申込み。 ※Zoomでも参加できます。

※質問のある方は、参加お申込み後またはお申込み時に
事前にメールでお送りください。

※お申込み・お問合せは、下記のこっこの会事務局へ



特定非営利活動法人

こっこの会

kokkonokai.jimukyoku@gmail.com

Tel：080-4206-1724

鶴ヶ島市社会福祉協議会・坂戸市社会福祉協議会登録団体



草薙厚子氏プロフィール

ジャーナリスト、ノンフィクション作家。
日本文藝家協会会員、日本発達障害支援システム学会員。

〈資格〉

社会福祉主事、児童福祉司任用資格、社会教育主事、中学校教諭・高等学校教諭免許、児童指導員、放課後児童支援員

〈経歴〉

法務省東京少年鑑別所法務教官退官後、地方局アナウンサーを経て、通信社ブルームバーグL.P.に入社。テレビ部門でアンカー、ファイナンシャル・ニュース・デスクを務める。

その後、ジャーナリストとして独立。発達障害、児童虐待などの社会問題や事件に取り組み、その経験から一貫して養育環境の大切さを訴え続けている。その他、介護問題、医療、ライフスタイルなどの幅広いジャンルの記事を執筆またコメンテーターとしても活躍。

現在はひとり親のための支援活動も行っている。

主な著書として『子どもが壊れる家』、大宅壮一ノンフィクション賞候補作『少年A矯正2500日全記録』（文藝春秋）、『ドキュメント 発達障害と少年犯罪』、『元少年Aの殺意は消えたのか』

（イースト・プレス）、『となりの少年少女A 理不尽な殺意の真相』（河出書房新社）などがある。最新作『子どもを育てられない親たち』（イースト・プレス）が絶賛発売中。

「ザ・ドキュメント さまよう信念 情報源は見殺しにされた」（関西テレビ）2024年7月に出演。